

入稿する前に！

Ai デザインデータの作り方 (1/2)

Step 1

データ作成前に、下記の設定をチェックしてください。

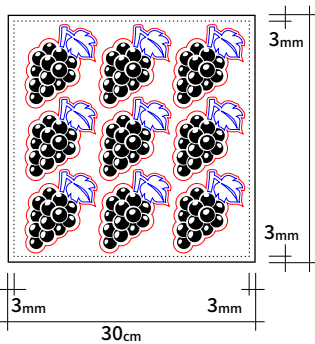
■ カラーモードは RGB に！

CMYK で作成すると、レーザーカッターに読み込めません。

ファイル > ドキュメントのカラーモード > 「RGB カラー」にチェック
ウィンドウ > カラー > 右上の 3 本線マークをクリックし「RGB」にチェック

■ オブジェクトの大きさは、選ぶ素材の大きさより 3mm 以上内側にオフセットしたサイズまで。

はみ出したオブジェクトやギリギリのサイズのオブジェクトは加工できません。

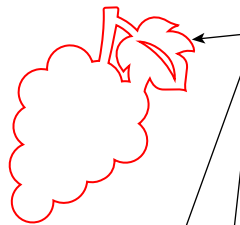


素材サイズ一覧	※各素材の価格など、詳しくは Anymany サイトの「Material」ページでチェックできます。		
アクリル (不透明・透明色・蛍光色・ミラー・二層板)	30×60cm 	30×30cm 	15×30cm
シナベニヤ、航空ベニヤ、MDF、 コルク、レザー、フェルト	30×60cm 	30×30cm 	
ヒノキ、アガチス	14×60cm 	14×30cm 	←→ 木目方向 (二層板はヘアライン方向)
ボール紙	A3 (29.7×42cm)		

Step 2

下記のように、希望の加工によって 線 / 塗りの色 を設定してください。

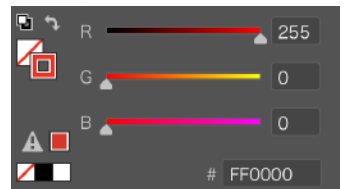
■ カットのみの場合



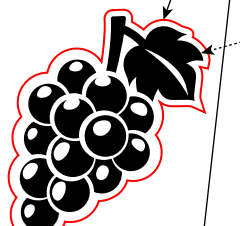
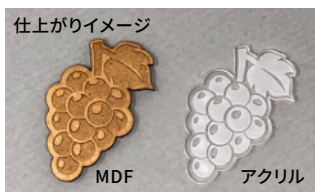
カット (カットしたい線)

塗り：なし
線：カラー 赤 (R:255 G:0 B:0)
太さ 1pt

加工時間：短 コスト：安



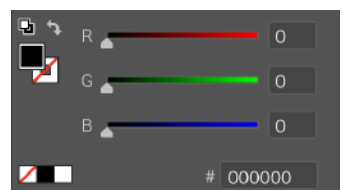
■ カット + 彫刻 の場合



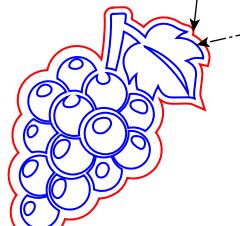
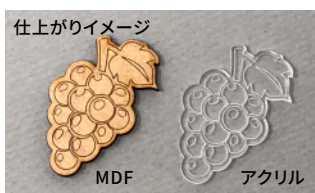
彫刻 (彫刻したいエリア)

塗り：カラー 黒 (R:0 G:0 B:0)
線：なし

加工時間：長 コスト：高



■ カット + ライン彫刻 の場合



ライン彫刻 (ライン彫刻したい線)

塗り：なし
線：カラー 青 (R:0 G:0 B:255)
太さ 1pt

加工時間：中 コスト：中



★カット + 彫刻 + ライン彫刻 の混在ももちろん可能です！

※「彫刻」と「ライン彫刻」の違い

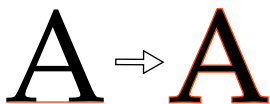
広い面を彫刻したい場合は「彫刻 (黒の塗り)」に設定を。0.5mm 程度の細い「線」を彫刻したい場合は「ライン彫刻 (青の線)」の方が加工時間が短く、コストも安くなるのでオススメです。0.5mm 以上の太い線を彫刻したい場合は、線をアウトライン化して「彫刻 (黒の塗り)」に設定してください。線をアウトライン化する方法は、Step3 をご確認ください。

入稿する前に！ Ai デザインデータの作り方 (2/2)

Step 3 下記の項目を確認！

■ 加工したいテキストや効果は **アウトライン化** されていますか？ 下記の手順で、アウトラインを作成してください。

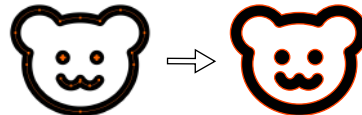
・通常テキストの場合
→ 書式 > アウトラインを作成



・ブラシの効果の場合
→ オブジェクト > パス > パスのアウトライン



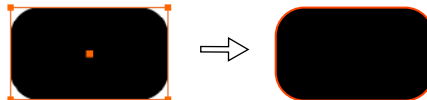
・線の太さを加工面にしたい場合
→ オブジェクト > パス > パスのアウトライン



・エンベロープ効果がかかったオブジェクトやテキストの場合
→ オブジェクト > エンベロープ > 拡張



・「効果 > スタイライズ > 角を丸くする」で角を丸くしてあるオブジェクトの場合
→ オブジェクト > アピアランスを分割



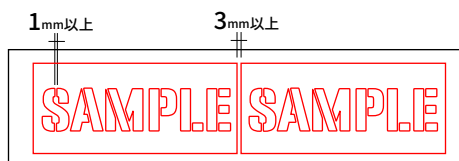
■ カットやライン彫刻の線は、「線の位置」が中央に揃っていますか？

「線」の設定で「線の位置」を内側または外側に揃える設定になっていると、『スピード注文』のフォームから入稿ができません。



■ カットの **線と線の間隔** は十分余裕がありますか？

オブジェクトとオブジェクトの間隔は 3mm 以上、
パーツの細さは 1mm 以上間隔を空けてください。
焦げや折れの原因になります。



■ 彫刻面に **細すぎる線** はありませんか？

0.5mm 以下の細い線は、彫刻が薄くなり見えにくくなる場合があります。
デザイン上重要な細い線がある場合、太さを調整してください。

0.5mm以上 **Text**

■ **線が 2 重に** 重なっていませんか？

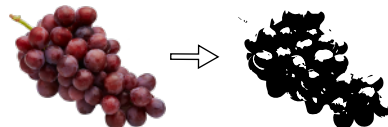
重なっている部分があると、レーザーは 2 回加工してしまいます（焦げや歪みの原因になります）。

→ ダイレクト選択ツールを使って余分な線を選択し、削除

■ イメージ (jpg など) を元にしていない場合は、**イメージをパス化** してください。

画像データを貼り付けただけでは、加工ができません。

→ オブジェクト > 画像トレース > 作成して拡張 でパス化



Step 4 保存時に下記の項目を確認し、完了！

■ 「別名で保存」をした時に現れる「Illustrator オプション」のウィンドウにて、「PDF 互換ファイルを作成」にチェックが入っているか必ず確認してください。このチェックが入っていないと、『スピード注文』のフォームから入稿ができません。

※「上書き保存」をすると、illustrator オプションウィンドウが現れません。「別名で保存」をして、右図の項目のチェックを確かめてみてください。

※『スピード注文』で入稿いただけるのは、ai データのみです。svg、dxf など他のベクトルデータの場合、または jpg や png、pdf の場合は、『問合せ注文』よりご注文ください。

